

コルク複合フローリング 取扱い・施工注意事項

<1> 施工の前に

コルクフローリングは、天然素材を使用して作られております。空気中の水分を吸収し膨らんだり、吐き出して収縮したりします。床下等からの湿気を受け易いため、下記の採替及び施工前の準備を必ず行って下さい。

- 反り・ゆがみを防ぐため、平らな所に均一に重ねて保管して下さい。
- 施工の約一週間前には開封し、現場の湿度になじませて下さい。
- 施工面が水平であることをご確認下さい。
- 下地には12mm厚以上の合板（タイプリ）捨て貼りをして下さい。
- 床下の換気を十分に行えるように換気口等を設けて下さい。
- 床下からの湿気が多い場合は、0.1mm以上の防湿シートを合板下に併用して下さい。
換気が十分でない場合、施工後に突上げ・床鳴りが発生する恐れがあります。
- 表面には3mmのコルクを使用しております。無垢材の特徴でもあります色の濃淡や、模様のバラつきが生じます。
事前に仮並べをして、バランスを取って施工して下さい。
- 当製品は内装用です。外装には使用しないで下さい。

<2> 床下地について

システム（置き床）フロア工法や根太組み工法、モルタル直貼工法のいずれの場合でも必ず12mm厚以上の合板（タイプリ）捨て貼り後、フローリングを施工して下さい。

またフローリングの貼り方向と直交するように、貼り方向を変えて下さい。

必要に応じて、防湿対策をして下さい。

<3> 施工手順

- 床下地など施工面が完全に乾燥状態にあるかを確認してから施工を開始して下さい。
- あらかじめ、床下地の表面のゴミ、ホコリ、油汚れなどを清掃して下さい。
- 基準墨を出し、割り付けを行って下さい。
- 貼り始めは、板の並びはきつく締めないで「つく」程度として下さい。
- 下地合板に釘止めするフローアーネイル、またはステーブルネイルは下地まで確実に届く長さ20mm以上を使用し、約300mm間隔で、鎌サネより約45°の角度で打ち込んで下さい。
- 接着剤は、木床用のウレタン樹脂系またはエポキシ樹脂系接着剤を使用して下さい。
- 接着剤は、使用説明書にしたがって塗布して下さい。木工ボンドなどの水性（エマルジョン）系接着剤の使用は避けて下さい。床鳴りの原因になる場合があります。
- 壁面には密着させず、巾木の下部分を約5mm程度の隙間を設けて下さい。
- 施工後、約24時間の養生期間を確保して下さい。養生期間内に床を歩行すると、接着不良の原因となり、床鳴りなどが発生する恐れがあります。
- 表面保護のため、通気性のある養生シートを使用して下さい。強力な粘着テープは塗装面をはがしてしまう場合がありますので、弱粘着性テープをご使用下さい。また、貼った養生テープを剥す時は、ゆっくりと剥して下さい。

（床暖房用の施工及び注意事項）

- 床暖房のパネルまたはシートの上には、9mm以上の合板捨て貼りをして下さい。
- 釘の長さは15mm以下のフローアーネイルかフローステーブルを使用して下さい。
- 床暖房運転時のフローリング材表面温度は、30℃未満でお使い下さい。限度を超えての使用は、フローリング材の割れ・反りなどが発生する恐れがあります。
- 床暖房運転時は、室内湿度を50～70%の範囲に保つようにして下さい。

<4> 免責事項

弊社取扱いフローリングについて、納品時に製品上の不良、欠陥があった場合は返品・交換または代金の返済を保証いたします。施工前にお申し出下さい。

施工後の材の膨張、収縮、経年色変化等については、原則的にクレームの対象外になります。

ただし、製品の直接原因とされる場合はご協議させていただきます。

● お施主様へ <必ず使用前にお読みください> ●

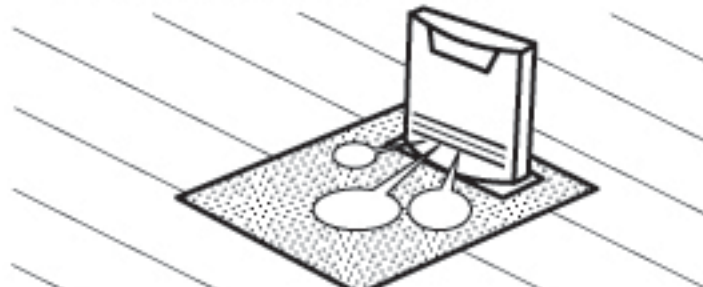
雨濡れ・水濡れ

製品の表面に耐水性に優れた塗装で保護しておりますが長時間の雨濡れ水濡れは製品のシミ、汚染の原因となりますので速やかに拭き取って下さい。



熱

床材にはホットカーペット・温風ヒーター・ストーブ等の熱が直接あたるような使い方は目障り、表面割れを引き起こしますので、避けて下さい。これらを使用される場合は断熱性の高いマットを敷いてご使用下さい。
※断熱マットは家電小売店で求め下さい。



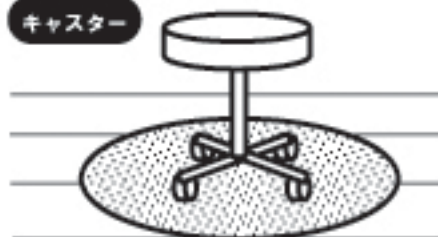
色違い・やけ

天然素材のため1枚1枚色柄は異なります。また、印刷物との間に隔たりを生じることもありますのでご了承願います。木材は光線中の可視光線成分や紫外線成分を吸収して、自らも変色していきます。その結果として光の当たった部分とそうでない部分で色が異なる状態が生じることがありますので、カーテン等でさえぎるなどしてできるだけ直射日光にさらさぬようご配慮お願いいたします。

キャスター・重量物

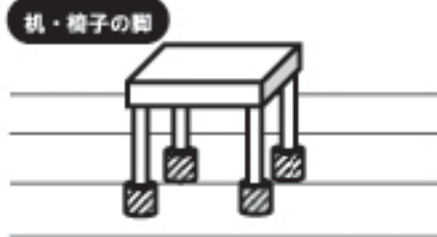
机・テーブルや椅子の足にはゴムキャップをかぶせてご使用下さい。ピアノなどの重量物は敷き板を介しておいて下さい。荷重のかかった状態でキャスター付の椅子やワゴンを動かすと大きなダメージを受けやすいのでカーペットを部分敷きして表面を保護してご使用下さい。

キャスター



カーペットやマット等部分敷き

机・椅子の脚



脚用ゴムキャップ等で床保護

重量物



重量物の足元には敷き板

<メンテナンスについて>

日常のお手入れ

- 掃除機やほうきで通常の掃除をした後、乾拭きをして下さい。水拭きは避けて下さい。
洗面所、トイレ、キッチン、勝手口など水気の多いところは、水切りマット等をご使用下さい。
ワックスがけには本床用樹脂ワックスをご使用下さい。水性ワックスは床の反り、おじれ等の原因になります。
塗装との密着性が悪いと白濁等の原因になります。使用塗料メーカーの指示に従って下さい。

汚れたときのお手入れ

汚れの種類によって処理方法が若干異なりますが、最初に乾拭きで除去を試み、それでも落ちない時は、下記のようにお手入れ願います。そのままにしておくと、染み・反り・膨れの原因になります。

パターンA (しょうゆ、ソース、マヨネーズ)

台所の中性洗剤を溶かしたぬるま湯でよく絞った雑巾で拭いて下さい。汚れが落ちたら乾いた柔らかい布で乾拭きして下さい。

さらに汚れが落ちにくい場合は、家庭用洗剤の原液を付けた雑巾で拭いて下さい。

汚れが落ちたら乾いた柔らかい布で乾拭きして下さい。

パターンB (ケチャップ、クレヨン、フェルトペン)

布にベンジンをつけ手早く拭いて下さい。汚れが落ちたら乾いた柔らかい布で乾拭きして下さい。

さらに汚れが落ちにくい場合も繰り返しベンジンをつけた布で拭きます。この時一度に落とそうとせず、時間を置いてから行います。汚れが落ちたら乾いた柔らかい布で乾拭きして下さい。